

平成21年度 常緑果樹関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果(夏期)

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成21年度常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験成績
検討会(夏期)は、平成22年6月22日(火)にRITZ5(リッツ・
ファイブ)において開催された。

この検討会には、試験場関係者 25 名、委託関係者 29

名ほか計 63 名の参集を得て、生育調節剤 5 薬剤(64 点)
について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表
に示す通りである。

平成21年度 常緑果樹関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定(夏期)一覧

A. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
1. AKD-8147水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウ ム:22% [アグロカネショウ]	リッショウミ カン (加温 栽培)	適用性 継続	神奈川農技根府川 愛知農試常緑 大分果樹研 (3)	[結果母枝充実・着花促進] ・夏秋梢萌芽時および再萌芽時 2~3回 ・1000~2000倍 ・立木全面散布	実 ・ 継	実) [リッショウミカン(加温);結果母枝充実、 着花促進] ・夏秋梢萌芽期および再萌芽期 ・1000~2000倍 2回 ・立木全面茎葉散布 継) ・処理回数1回での効果の確認
	不知火	適用性 継続	愛媛果試 熊本農研果樹 (2)	[夏秋梢発芽防止] ・新梢萌芽期および再萌芽期 ・1000, 2000倍 1~3回 ・立木全面散布	実	実) [不知火;夏秋梢発芽防止] ・新梢萌芽期~再萌芽期 ・1000~2000倍 3回以内 ・立木全面散布 注) ・果実糖度の低下や、果皮色が劣 る場合がある
	せとか	適用性 継続	山口柑きつ振興会 (1)	[夏秋梢発芽防止] ・新梢萌芽期および再萌芽期 ・1000, 2000倍 1~3回 ・立木全面散布	実 ・ 継	実) [せとか;夏秋梢発芽防止] ・新梢萌芽期~再萌芽期 ・1000~2000倍 2回以内 ・立木全面散布 継) ・2回処理での年次変動の確認 (果実品質への影響について)
	はるみ	適用性 継続	山口柑きつ振興会 (1)	[夏秋梢発芽防止] ・新梢萌芽期および再萌芽期 ・1000, 2000倍 1~3回 ・立木全面散布	実	実) [はるみ;夏秋梢発芽防止] ・新梢萌芽期~再萌芽期 ・1000~2000倍 2~3回 ・立木全面散布 注) ・果実糖度の低下や、果皮色が劣 る場合がある

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AKD-8147水溶 つづき	ボンカン	適用性 継続	熊本農研天草 (1)	[夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期および再萌芽期 ・ 1000, 2000倍 1~3回 ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) [ボンカン;夏秋梢発芽防止] ・ 新梢萌芽期~再萌芽期 ・ 1000~2000倍 2~3回 ・ 立木全面散布 注) ・ 果実糖度の低下や、果皮色が劣 る場合がある 継) ・ 年次変動の確認 ・ 処理回数の拡大について
	不知火	適用性 継続	愛媛果試 熊本農研果樹 (2)	[果実肥大促進] ・ 果実肥大期 (7~8月*) *摘果直後 ・ 4000, 8000倍 ・ 1回散布, 2回散布 ・ 立木全面散布	実 ・ 継	実) [不知火;果実肥大促進] ・ 果実肥大期 (7~8月*) *摘果直後 ・ 4000~8000倍 2回 ・ 立木全面散布 注) ・ 果実糖度の低下や、果皮色が劣 る場合がある 継) ・ 1回処理での効果、薬害の確認
2. AKD-8191水溶 1-ナフタレン酢酸ナトリウ ム:40% [アタカネショウ]	河内晩 柑	適用性 新規	愛媛みかん研 熊本農研天草 (2)	[後期落果防止] ・ 果実着色期~収穫予定14日前 ・ 1000, 2000倍 1~2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	継	[河内晩柑;後期落果防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
	清見	適用性 新規	山口柑きつ振興セ 香川農試府中 (2)	[後期落果防止] ・ 果実着色期~収穫予定14日前 ・ 1000, 2000倍 1~2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	継	[清見;後期落果防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
	八朔	適用性 新規	佐賀果試 (1)	[後期落果防止] ・ 果実着色期~収穫予定14日前 ・ 1000, 2000倍 1~2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	継	[八朔;後期落果防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
	日向夏	適用性 新規	福岡農総試 (1)	[後期落果防止] ・ 果実着色期~収穫予定14日前 ・ 1000, 2000倍 1~2回 (散布間隔:3週間) ・ 立木全面散布	継	[日向夏;後期落果防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
	伊予柑	作用性 新規	愛媛果試 (1)	[へた落ち防止] ①収穫予定20および10日前 1000, 2000倍 2回 ②収穫予定前日、7, 14, 21日前 1000, 2000倍 1回 ・ 立木全面散布	継	[伊予柑;へた落ち防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 新規	香川農試府中 愛媛果試 愛媛みかん研 佐賀果試 (4)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21~7日前 ・ 1000, 2000倍 1~2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布		

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
AKD-8191水溶 つづき	甘夏	適用性 新規	香川農試府中 熊本農研果樹 (2)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000,2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布	継	[甘夏;へた落ち防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
	清見	適用性 新規	香川農試府中 福岡農総試 (2)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000,2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布	継	[清見;へた落ち防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
	ネーブル	適用性 新規	香川農試府中 (1)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000,2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布	継	[ネーブル;へた落ち防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
	八朔	適用性 新規	香川農試府中 佐賀果試 (2)	[へた落ち防止] ・ 収穫予定21～7日前 ・ 1000,2000倍 1～2回 (散布間隔:7日間前後) ・ 立木全面散布	継	[八朔;へた落ち防止] 継) ・ 効果、薬害の確認
3. RIC-1液 海藻ホモネート [ロイヤル インターストリス®]	ウシジョウミ カン (成木)	適用性 継続	広島農技 (H19～21) (1)	[品質向上、樹勢回復、隔年結果 軽減] ・ A区;2-3月原液1L/10a(土壌 処理*)→3月上中、4月上中、5 月中下、6月中下、12月1000倍 各1回(茎葉処理) ・ B区;3月上中、4月上中、5月 中下、6月中下、12月1000倍各1 回(茎葉処理)	継	[ウシジョウミ;隔年結果軽減] 継) ・ 効果、薬害の確認
	はるみ	適用性 継続	山口柑きつ振興セ 愛媛みかん研 佐賀果試 宮崎総農試亜熱帯 (4)	[品質向上、樹勢回復、隔年結果 軽減] ・ A区;2-3月原液1.5L/10a(土 壌処理)→4、5、6、7、8、9、 10、11、12月2000倍各1回(茎 葉処理) ・ B区;3、4、5、6、7、8、9、 10、11、12月1500倍各1回(茎 葉処理)	継	[はるみ;樹勢回復、隔年結果軽 減] 継) ・ 効果、薬害の確認
4. ジベレリン ベースト ジベレリン:2.7% [協和発酵バイオ]	ブンタン	適用性 新規 (自主)	高知農技果試 (露地) (1)	[果実肥大促進] ・ ①満開50日後 ②満開70日後 ③満開90日後 ・ 5～10mg/果実 ・ 果梗から2～3cmの結果枝に塗布	継	[ブンタン;果実肥大促進] 継) ・ 効果、薬害の確認

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 <は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草;ねらい] ・処理時期 ・薬量g・mL<水量L>/10a ・処理方法	判 定	判定内容
5. ジベレリン水溶+PDJ 液 ジベレリン:3.1%+ プロトキシモン:5% [日本ジベレリン研究 会, 日本ゼオン]	ウンシュウミ かん	適用性 継続	愛知農試常緑 和歌山果試 山口柑きつ振興セ 愛媛みかん研 (4)	[花芽抑制による樹勢維持] ・収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・立木全面散布又は枝別散布 注) 200～300枚程度着葉した枝を 試験区とし、3反復以上	実	[ウンシュウミかん;花芽抑制による樹 勢維持] ・収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・PDJ25～50ppm+GA10ppm 1回 ・立木全面散布
	伊予柑	適用性 継続	香川農試府中 愛媛みかん研 (2)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・立木全面散布又は枝別散布 ・注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上	継	[伊予柑;花芽抑制による樹勢維 持] 継) ・効果、薬害の確認
	清見	適用性 継続	和歌山果試 佐賀果試 (2)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・立木全面散布又は枝別散布 ・注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上	実	[清見;花芽抑制による樹勢維 持] ・収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・PDJ25～50ppm+GA10ppm 1回 ・立木全面散布
	不知火	適用性 継続	愛媛みかん研 熊本農研果樹 (2)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・立木全面散布又は枝別散布 ・注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上	実	[不知火;花芽抑制による樹勢 維持] ・収穫直後～収穫約1ヶ月後 ・PDJ25～50ppm+GA10ppm 1回 ・立木全面散布
	はるみ	適用性 継続	山口柑きつ振興セ (1)	[花芽抑制による樹勢の維持] ・収穫直後～収穫約1ヶ月後 ①PDJ50ppm+GA10ppm ②PDJ25ppm+GA10ppm 対照: GA25ppm ・立木全面散布又は枝別散布 ・注) 200～300枚程度着葉した枝 を試験区とし、3反復以上	継	[はるみ;花芽抑制による樹勢維 持] 継) ・効果、薬害の確認
	伊予柑	適用性 新規	香川農試府中 愛媛みかん研 (2)	[水腐れ軽減] ・果実着色始期 ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3.3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3.3ppm ・果実を中心に全面散布	継	[伊予柑;水腐れ軽減] 継) ・効果、薬害の確認

A. 生育調節剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 〈は試験中など (数)	試 験 設 計 [対象雑草:ねらい] ・ 処理時期 ・ 薬量g・mL<水量L>/10a ・ 処理方法	判 定	判定内容
ジペレリン水溶+PDJ液 つづき	不知火	作用性 自主	熊本農研天草 (H20) 鹿児島農総果樹 (H19, 20) (3)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 (あるいは着色前、着色期) ・ ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布	継	[不知火;水腐れ軽減] 継) ・ 効果、薬害の確認
		適用性 新規	熊本農研天草 鹿児島農総果樹 (2)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 ・ ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布		
	はるみ	適用性 新規	山口柑きつ振興と 愛媛果試 (2)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 ・ ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布	継	[はるみ;水腐れ軽減] 継) ・ 効果、薬害の確認
		作用性 自主	静岡伊豆農研 (H20) 高知農技果試 (H19, 20) 熊本農研天草 (H20) 鹿児島農総果樹 (H19, 20) (6)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 (あるいは着色期) ・ ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm (③PDJ50ppm+GA2. 0ppm) ④PDJ25ppm+GA5ppm ⑤PDJ25ppm+GA3. 3ppm (⑥PDJ25ppm+GA1. 0ppm) ・ 果実を中心に全面散布		
ボンカン		適用性 新規	静岡伊豆農研 高知農技果試 熊本農研天草 鹿児島農総果樹 (4)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 ・ ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm ③PDJ25ppm+GA5ppm ④PDJ25ppm+GA3. 3ppm ・ 果実を中心に全面散布	継	[ボンカン;水腐れ軽減] 継) ・ 効果、薬害の確認
		作用性 自主	静岡伊豆農研 (H20) 高知農技果試 (H19, 20) 熊本農研天草 (H20) 鹿児島農総果樹 (H19, 20) (6)	[水腐れ軽減] ・ 果実着色始期 (あるいは着色期) ・ ①PDJ50ppm+GA5ppm ②PDJ50ppm+GA3. 3ppm (③PDJ50ppm+GA2. 0ppm) ④PDJ25ppm+GA5ppm ⑤PDJ25ppm+GA3. 3ppm (⑥PDJ25ppm+GA1. 0ppm) ・ 果実を中心に全面散布		